

[ 排水口だけでなくベランダのお掃除も ]

標準所要時間  
6畳程度の  
ベランダの場合  
約60分

年に1度はベランダのお掃除を行いましょ

ふだんはなかなかお掃除できない、ベランダのタイル部分。知らず知らずのうちに砂やゴミなどがたまり、場合によってはベランダの防水シートの表面を傷つけ、劣化を早めてしまうこともあります。年に1度はお手入れを行いましょ。

【用意するもの】 マイナスドライバー、ほうき、ちりとり、デッキブラシ、ホース、チャーミーグリーンなどの中性洗剤  
【作業の頻度】 年に1~2回

●お使いになる洗剤等の裏面の注意事項は必ずお読みください。 ●各メーカーの取扱説明書や使用上の注意書きを必ずお読みください。

5 残りも同様に掃除



防水シートの掃除が終わったらタイルシートを元の位置に戻し、排水口側の残りの4分の1のスペースも④と同じ手順で掃除します。

6 タイルシートを元に戻す



4分割したタイルシートをすべて元の位置に戻したら、右記②のAの部分にBの部分にしっかり合わせ、カチッと音がするまではめ込みます。その際、目地のラインがまっすぐになるよう整えてください。

※必ずタイルシートを元の位置に戻してからタイルシートのジョイント部をはめてください。

7 タイルシートの汚れを落とす

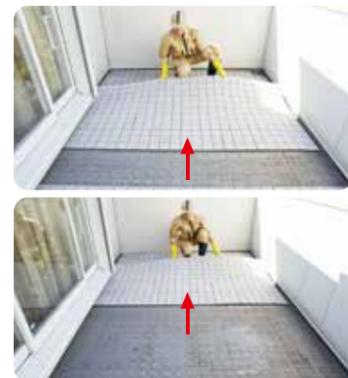


仕上げにタイルシートの上を水でブラッシングします。こうした手順でのベランダの掃除を年1~2回すると、見た目の美しさだけでなく状態の良さも長持ちします。

8 お掃除完了!



3 タイルシートを重ねて置く



はずしたタイルシートは、排水口のある方へ順番に重ねます。ベランダは排水口側へゆるやかに傾斜しているため、こうすることで掃除中の汚水の流れがスムーズになります。

4 防水シートの汚れを落とす



防水シートの表面をキレイに掃除します。先に、ほうきで掃いて砂やホコリなどのゴミを取り除いてから、水とブラシで汚れを洗い落とします。

POINT

壁の汚れが気になるときは...



壁についた苔などの汚れは、ブラッシングすると水だけで落とせます。どうしても落ちにくい汚れには中性洗剤を使ってください。

1 排水口のゴミを取る

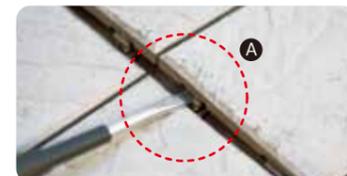


排水口にたまった落ち葉などのゴミを取り除きます。雨水の流れをよくするためにも、排水口はこまめにお手入れしましょ。

2 タイルシートをはずす (樹脂タイル)



ベランダ全体を大まかに4分割します。 ※タイルシートを細かく分けてしまうと元に戻しにくくなります。



タイルシートの端にあるジョイントのA部分にマイナスドライバーを当て、引き上げるようにしてBの部分からゆっくりはずします。

※タイルシート下の防水シートをマイナスドライバーで傷つけないようにご注意ください。雨漏りの原因になります。

台風や大雨に備える

そろそろ台風シーズンが始まります。

大きな被害をもたらす台風の上陸は6月から始まり8月9月にピークを迎えます。災害をもたらす危険性のあるゲリラ豪雨も7月から9月にかけて集中し、10年前に比べ約35%増加しているそうです。浸水の原因にもなる排水口の詰まりなど早め早めのお手入れで、もしものときに備えましょ。

[ 1981年から2012年までの台風の上陸数 ]

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0	0	0	0	1	7	15	28	28	7	1	0

資料: 気象庁「台風の上陸数」

PROFILE  
【技術監修】

トヨタホーム アフターサービス担当  
DIYアドバイザー

植月 英貴

家の周囲の点検も大事。飛んでいくな物がなにか確認しましょ。ガーデニング用品なども整理整頓し、風の強い日は高い所に植木鉢を置かない様、気を付けてください。



[ ベランダの排水口はこまめにお手入れしましょ ]



排水口の詰まりが、漏水・浸水の原因に

ベランダの排水口が詰まると大雨で水が溢れ、漏水や浸水しかねません。必ず点検口を開け、ゴミや木の葉などを取り除いてください。特にルーバルコニーの排水口が詰まると、階下の居室の雨漏りの原因になることも。日頃から忘れずにお掃除しておきましょ。

[ 台風・大雨時には給気口を閉じましょ ]

換気口一例	姿図	開閉方法
給気口フィルター付 100φ、150φ フラット		●レバー式 右下のレバーで開閉可能です
給気口フィルター付 150φ	 閉じた状態	●プッシュ式 押すことにより開閉可能です

閉じることで、吹き込みによる被害を防ぎます

外部から風雨が逆流する恐れがあるため、24時間換気システム(ピュア24)の居室の給気口、キッチンの給気口などを閉じてください。

⚠ あくまでも強風時の吹き込み対策ですので、それ以外では必ず元(常時開)に戻してください。

お役立ちアドバイス



シャッター音はスポンジで抑える

強風時、ガタガタというシャッターの音が気になる場合、サッシとシャッターの間にスポンジをはさむと音が抑えられます。



汚れたままのシャッターは、故障の原因に

台風などの強風時、スラットのすき間に細かい砂などが入るため、そのままの状態ではシャッターを開けると、キズ、異常音、故障の原因になります。シャッターの掃除をしてから開けるとよいでしょう。 ※ブラシで擦ると砂がスラッド内に入り込むので洗車ホースを使いシャワー機能で流し落とします。